

## 医療機関の利用状況等に関する実態調査

問12「今後、三和地域に診療所が再開した場合には、どのようなことを望まれますか。」  
自由記述についてカテゴリ別に代表的な声を記載。

### 1. 場所・交通・送迎・アクセス

診療所までの“交通手段の確保”を求める声が多くみられた。

「家から病院まで足の確保がされていると良いと思います」  
「車がないので利用サービスをして利用できれば有りがたいです」  
「交通の便がないので送迎など工夫してほしい。(高齢者には不便です)」  
「交通手段がないからまず診療所の場所も問題になります。」  
「交通手段のない一人暮らしの宅への訪問診療等、診察への専門送迎バスの配車(有料でも可)」  
「送迎用のバスがあれば嬉しいです。」  
「第一に送迎を望みます。」  
「車を利用しなくても行ける場所にあること」  
「近くに診療所がある事が安心出来る」  
「近隣の人が通いやすいこと、利用しやすいこと」

### 2. 診療日数・診療時間・開いている頻度

「週1日・短時間では困る」「週3日以上・夕方まで」を求める記述が目立った。

「週1回診察が2時間ではとてもだめです。」  
「週1日、何時間では、他の医療機関を利用せざるを得ないと思うので、せめて週3回ぐらい全日診療にならないと利用者も増えないので。」  
「週5日は診療してほしい」  
「週に4、5日開業してほしい(午前中でいいから)」  
「週に最低でも3日位は開院してあげてほしい、午前中だけでもよいので。」  
「時間や都合が負担なのでせめて週3ぐらいで開院を望む。」  
「短い時間でもできるだけ日数を多く開けてほしい」  
「開院している時間に行けないので夕方の診察もお願いしたいです」  
「週に1～2回でも19時頃までの診療日があるとありがたいと思います」  
「せめて午後5時まで診療してほしい」

### 3. 診療科目・医療機能・検査・機器

「総合的に診られる診療所」「複数の科」「検査・薬の体制」への要望。

「外科内科対応する病院に」  
「開業医さんのように1つの科だけでなく、多数の科があるとうれしい」  
「眼科、耳鼻科が受診できたらいい」  
「特に内科・整形外科を希望」  
「総合内科として、運営してほしい」  
「総合病院にかかるほどでもない症状を普通に診てほしい」  
「①診療科が総合であることが望ましい」

「人員と医療機器の充実」

「検査項目が充実している事。受診して、たらい回しがされるのが敵わない。」

「薬は院内で受け取れるように。」

#### 4. 急病時対応・救急・薬・休日夜間・往診

「急な病気やけが」「夜間・休日」「往診・看取り」への不安・期待の記述。

「急な時、救急に行くしか方法がない。」

「また、薬が必要な時に薬を買える場所がない。」

「急な時の対応を望みます。」

「急な体調不安な時、医師のいない三和町はとても不安だ。」

「いつでも受診出来る病院がほしい。」

「急な病気になった時、救急車で行く程重症でない時は利用したい」

「休日診療、夜間診療、終末期間、往診」

「夜間でも救急診療が受けられる様」

「多くは望みませんが往診が可能であれば良い」

「看取りのための往診」

#### 5. 医師・医療者への期待・姿勢・信頼

「寄り添う先生」「丁寧で信頼できる医師」への希望が繰り返し出ていた。

「開業医でよいお医者様に来ていただければ大変うれしく思います。」

「診療日がいくらくてもあわない方でしたら行かないし、良い方でしたら週1日でも行くのではないかと思います。」

「患者に寄りそってもらえる医師が来てもらいたい」

「患者に寄り添ってもらえたうれしい（事務的にならないように）」

「患者に真摯な態度で向き合ってもらいたい。」

「患者の立場になって寄り添ってもらえると幸いです。」

「既に他機関で診療をして頂いており、年齢の事もあり利用できないが、UターンやIターンの高齢者には総合的な対応ができる医師を希望」

「地域の状況を理解しようと思われる医療施設であってほしい」

「地域の方のため市がしっかりサポートくださり、末永く診療所が続く事。ていねいで優しく対応くださる先生の選出をお願いします。」

「ドクターコトーミたいな先生がいい」

#### 6. 総合判断・相談機能・かかりつけ・安心感

「身近な相談先」「かかりつけ」「安心感」を重視する記述がみられた。

「自分の経験から申しますと医療側に総合判断の出来る方に居ていただきたい。」

「自分の健康管理も含め相談できる医療機関が近くにほしい。」

「身近な存在で日常的な健康管理等について相談できる。」

「総合診療科医があるとよい 不安に思っていることを気軽に相談できる」

「家の近くに診療所があると安心感があります。」

「大きな病院に行く必要もないけれど体の状態が気になる時がある場合に受診できたら安心するし地域密着型の診療所が何日かでもあればうれしい。」

「生活地域に病院がある事は大きな安心です。」

「近くに病院が有ると安心して毎日が暮せるので再開してほしい」  
「長期継続的な再開で安心して毎日の生活が送れる事を希望」  
「地域診療は不可欠と思う」

## 7. 高齢者・免許返納・将来の移動困難

「今は通えるが、免許返納後・高齢になったときが心配」という将来不安が多かった。

「いざれは私達も車に乗れない日が来ると思うので。」  
「まず、再開するメドは立っているのか。これだけ高齢化が進む中、又、車も返納した人たちをどの様にフォローしていただけるのか、とても不安。」  
「免許返納後には訪問医療が出来ること。」  
「免許返納後の交通手段が一番の問題、そのことがなんとかなるならば利用することもあると思う。」  
「今は元気ですが、車に乗れなくなった時の事を考えるとやはり地域に診療所がないと不安です。」  
「今は自家用車の運転で自由に通院などしていますが、近いうちに運転がむずかしくなった場合、近くに病院があるとありがたい。」  
「今は車にのっているのでそれほど不自由は感じませんが、免許返納した後が心配です。」  
「今は車に乗れなくなったら、送迎してほしい。」  
「今は車の運転も出来るから福知山の病院に行けますが、免許返納になれば診療所に行くのも無理になり老々介護になってきたらと色々と心配になってきます。」  
「高齢者に合わせた治りようをお願いしたい」

## 8. 多様な対象者（子ども・外国人・認知症等）への配慮

子育て世代や外国人、認知症への配慮を求める具体的な記述。

「小児科が欲しいです。」  
「夜間の診療 小児科」  
「又外国の方も生活される中、診療所のことはよく聞かれる。リハビリもしっかり利用出来るようにしてほしい。このアンケートは、子育ての保護者の声もしっかり取り上げて頂きたい。三地域とも診療所がないことに市も早く結果を出して頂きたい。」  
「健康時とはまったく性格も変わってしまったりしてとりつくしまが無くなったりするので対応していただけないとありがたい。」

## 9. 行政への要望・不満・継続性・PR

「やるなら続けて」「方針をはっきり」「PR もしてほしい」といった行政へ要望。

「短期間で閉院しないでほしい」  
「やめずに続けてほしい」  
「安定した開業を確保するための市の関与」  
「永続できるように直営で（市民病院分院の形で）」  
「すぐに閉院しないようにぎょうせいからきめ細かくサポートしてほしい」  
「患者も少なく、診療所が再開したところで、また閉所になってしまう。もっとチラシをくばるなり PR してみてはどうか？」

「身近に診療所があると安心して生活することができる。しかし日々の運営のことを考えると（人件費など）、それだけの患者数があるかは心配するところである。」

「コストも考え再開は望まないが、市内への交通手段の拡充を希望する。」

「何も望まない。なくても良い。再開しても利用しない。」

「実態調査するのになぜ半年もかかるのか。」

「町内に一つも病院のない不安さをどれだけわかっているのか。対応が遅い、甘い、切り捨てられている。」

「1つの町に病院がないのはおかしいと思います。」

「やったりやらなかつたり意見をきかずここには診療所はやりませんといえばいい。住民もかんがえてくらすだろう。」